

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名		16 乳幼児医療費助成事業	
		根拠法令・規程等	備前市乳幼児医療費給付に関する条例
		問担当課(室)	保健課
		職・氏名	保険医療係長 河井 健治
		電話	64-1819

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	義務教育就学前の市内在住乳幼児の保護者
目的(何のために)	乳幼児に係る医療費を給付し、保護者の経済的負担軽減を図ることにより乳幼児の健康保持及び増進に寄与するとともに子育て支援に資する。
行政活動(どのような方法で)	医療機関での窓口負担を無料とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	乳幼児の医療機関を受診する機会を確保することで、健康保持の増進と、子育て支援の向上

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	医療費支給件数	件		28,045	26,519	24,006
	医療費総額	円		59,672,207	57,065,825	44,512,292
	受給資格者数	人		1,729	1,667	1,578

事業費	直接事業費		千円	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	必要人員	人		0.70人	0.49人	0.36人
	人件費	円		3,700	2,672	2,398
	事業費計	円		67,018	64,297	51,491

結果指標①	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	医療費支給件数	件	説明 一件当たり単価	28,045	26,519	24,006
	対前年比	%		—	94.6%	90.5%
	活動コスト	円		67,018,000	64,297,000	51,491,000

事業の成果						
年間一人当たり支給件数	成果指標名		年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値(A)	到達目標値		14	18	18
	実績値(B)	到達目標年度		16.2	15.91	15.21
	達成率(B/A)	毎年度		115.7%	88.4%	84.5%

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 事務の集約を行ない、コスト削減に取り組んでいるが効果は薄い。制度改正により医療保険での給付が増加したことにより大幅なコスト削減となっている。償還払いとなる事務を改善できればコスト削減に繋がるが、県外受診が対象であることから調整が困難な状況となっている。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 制度を適正に運営する事で子育て支援に寄与できている。
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	2,145	結果指標量②	32,631	成果指標量	18.0
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	安定的に適正な制度運営に努めていく必要がある。					

総合評価		評価区分<A~E>
本制度は、子育て支援の一環として岡山県下全市町村が同様の事業を実施している。疾病にかかりやすい乳幼児の子育て期間中の保護者の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられる体制整備ができており、乳幼児の健やかな成長に貢献している。		A

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	安定的に適正な制度運営に努めていく必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		

医療費支給件数/受給者数
適正な給付に努める必要があることから給付率を指標としている。しかし、多ければ良い物ではない。